

令和元年 6 月定例会一般質問発言通告表

| 発言 順序 | 4 | 議席 番号 | 4 | 氏名 | 辻 村 岳 瑠 議員 | 1 / 1 |
|----------|------------------------------|----------|---|---|------------|-------|
| 発言項目 | | | | 要 旨 | | 答弁者 |
| 1 | 福祉で輝く富士宮の まちづくりについて | | | <p>福祉は全産業の基盤になっていると考えています。先行き困難な時代の背景には市民の心の迷いや不安があります。福祉という手法を用いて心の迷いや不安をプラスの力に変える施策について伺う。</p> <p>(1) 2025年を迎えるにあたり、高齢者介護の人材確保は重要な課題です。市の高齢者介護人材の必要数とそれに対する市の取り組みについて。</p> <p>(2) これからの交通弱者への支援は、住み慣れた地域で暮らすために必要不可欠です。移動手段確保に対する市の取り組みについて。</p> <p>(3) 地域共生社会の実現に向けた市の熱い思い、イメージを伺います。</p> | | 関係部長 |
| 2 | スポーツで輝く富士 宮のまちづくりについ て | | | <p>スポーツは心技体といわれます。特に心の鍛錬は学童期から青年期にスポーツ等の運動が効果的です。将来の人生、人間形成にも大きな影響を及ぼすスポーツ。富士宮を輝かせる次世代の方にスポーツ振興は重要な施策であると考え伺う。</p> <p>(1) 市では「市民ひとり1スポーツ」を推進していますが、学童期や青年期では、どのようなスポーツ競技が行われ、また実践している人のおおよその割合について。</p> <p>(2) 第5次富士宮市総合計画では、小・中学校の体育施設を開放し、利用を73万人とすることを目標としていますが、内訳となる主な施設と利用者数について。</p> <p>(3) 青年期に市内でスポーツに取り組むことは、郷土愛の育成につながり、若者の転出超過の抑制へのきっかけになると考えます。市内高等学校と連携した、市のスポーツ振興の取り組みについて。</p> | | 関係部長 |